# 上位計画と主な個別計画での中心市街地等の位置付け

#### ■上位計画と個別計画



都市構造図

# ■都市計画マスタープラン 『広域拠点』

他 行政分野

整備の方針

『広域拠点』 都市拠点の中でも高次の広域的都市機能が 集積する拠点

- -・拠点の形成方針 ………・都市機能充実や各機能連携による「県都の顔」となる広域拠点づくり
  - ・中央通りを軸に水路、路地、緑地広場などを歩行者優先道路でネット ワーク化した四季を通じて歩いて楽しい街づくり
  - ・県立大学学生寮を活かした、地域と連携したまちづくり
  - ・空き家の再利用、駐車場等の低・未利用地の活用
- ・土地利用方針 ··········・長野駅から善光寺に至る表参道を軸に、歴史・文化を活かした歩行者 優先の賑わいのある街づくり
  - ・市街地の都市環境を活かし、地域の特性を考慮しながら、利便性や 安全性を備えた居住環境の整備
  - ・広域拠点にふさわしい土地の高度利用や、ストックの更新を誘導

# ■立地適正化計画 『都市機能誘導区域』

居住誘導区域の中でも医療・福祉・商業等 の都市機能を誘導すべき区域

都市機能を誘導するための施策

#### <施策の例>

- -・拠点への都市機能の整備…………拠点での公共施設整備、民間施設立地誘導
- ・・中心市街地の機能集積の維持・強化…中心市街地活性化、リノベーションまちづくり推進
- -・公共施設の誘導・再編等…………公共施設の誘導、再編・再配置に伴う用地活用

# ■公共交通ビジョン 『基幹公共交通軸』の結節点

・基幹公共交通軸 ………広域拠点と、地域拠点や観光拠点、隣接自治体等の拠点間を結ぶ本市 の骨格

### ■中心市街地活性化プラン

#### 4つの目標

- -・行きたくなるまち……広域観光の玄関口としての機能や魅力の向上、伝統と文化が感じられる 景観の形成
- 一・住みたくなるまち …… 憩いと潤いのある居住環境整備、多世代が暮らす地域コミュニティ再生
- 一・巡りたくなるまち……滞留時間の長い魅力ある都市機能の充実、トランジットモール化の促進
- ・・交わりたくなるまち … 多様な主体それぞれの特色を生かした協働のまちづくりの意識醸成

### ■商工業振興・雇用促進計画

#### 商業分野:3つの基本方針

- 一・持続する商業環境の整備と経営基盤の強化……商店街の環境整備と活動の促進、商業者の経営 強化と人材育成、商業振興施設の活用
- ・地域の特長を生かした商業の展開 ············都市拠点及び地域生活拠点の方向性を生かした 商業環境の形成

# ■観光振興計画 「認知度・魅力度が高くブランド力ある観光地」

#### 5つの政策

- 広域連携とハブ機能の強化…………広域連携による誘客活動
- ・地域資源に根ざしたインバウンドの推進……プロモーションコンテンツ開発、受入環境整備 等
- ・特色あるコンベンションの誘致促進 ·····・・・誘致強化、フィルムコミッション強化と観光活用

### ■ 公共施設等総合管理計画

非木造施設のうち、旧耐震基準の既存施設は原則長寿命化せず、使用年数を50年とする。

## 関係計画上の位置付け

#### 中心市街地

長野駅から善光寺に至る表参道を中心軸に、公共・民間の施設を誘導、整備、 活用し、高次の広域的都市機能を集積。

#### 敷地及び周辺

中心軸の中央にあって商業や観光の核となるにぎわいを演出する拠点地区。

#### 現況建物

多様な市民活動の機会と場を提供し、その活動を総合的に支援。 官民の協働により賑わいと活気のある中心市街地の活性化に寄与。